

「八戸いちご」の情報発信について

1 情報発信用媒体

A5判冊子（4頁）

2 配布場所

- ・スーパー
- ・スイーツ販売店
- ・その他



（いちごの花）



（いちごの実）

3 内容

- ・ 八戸いちごの本格的な生産の始まり

昭和20年代の浜市川では、ヤマセの影響によりたびたび冷害に見舞われていたことから、農家の男性は北海道のニシン漁へと出稼ぎに行っていました。

そのような中、昭和28年の出稼ぎ中に、22名の農家の男性が嵐による事故で命を落としてしまいました。

その子供たちの悲しむ姿を見た市立多賀小学校の細川重計校長先生が出稼ぎをしなくてもすむように、当時は珍しかった「いちご生産」を浜市川苺生産組合（現在の八戸苺生産組合）の初代組合長となる木村徳男氏などに呼びかけました。

その後、7人の農業経営者が生産を始め、昭和30年頃から市川地区に本格的な「いちご生産」が定着したと言われています。

- ・ 八戸いちごの生産状況

八戸市の市川地区に県内で一番の産地が形成され、「さちのか」、「とちおとめ」、「麗紅」などの秋～春に生産される品種に加え、近年では、夏～秋に生産される「サマールビー」、「すずあかね」などの品種も生産され、一年中生産が可能になっています。

・販売カレンダー

(促成栽培)

ビニールハウスで栽培し、寒い時は暖房も使います。

・品種：さちのか、とちおとめ

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇				〇	〇〇〇	〇〇〇

(半促成栽培)

ビニールハウスで栽培します。

・品種：さちのか、麗紅

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇						

(夏秋栽培)

ビニールハウスで栽培し、暑い時は日よけを使います。

・品種：サマールビー、すずあかね

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
					〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇	

(露地栽培)

外で栽培します。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
					〇〇〇						